

2011年度

科目名	社会調査法B				
担当教員	井上 徹				
配当	人社2		コード	12053	
開期	後期	講時	月曜日2限	単位数	2
授業テーマ	社会現象を科学的に探求する				
目的と概要	社会調査を行なう上に必要な知識と技術を修得することを目的とする。社会調査法Bは、社会調査で得られたデータを如何に分析し、解釈するかを、具体的な事例と実習を交えて講義する。				
成績評価法	平常点(10%)＋レポート(30%)＋筆記テスト(60%)				
テキスト	酒井隆 2003 『実務入門 図解アンケート調査と統計解析がわかる本』 ミネルヴァ書房				
参考書	大谷信介、後藤範章、永野武、木下栄二、小松洋 2005 社会調査へのアプローチ―論理と方法(第2版) ミネルヴァ書房				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	Excel を用いた統計的な処理の演習を頻繁に行う。休むと分からなくなるので、休まないように。前時までの内容を確実に理解したうえで、次の授業に臨むこと。またテキストの当該箇所をあらかじめよんでおくこと。				
講義計画					
1. データ分析の考え方 計数値、計量値 2. データの整理と集計 (1) 単純集計 3. データの整理と集計 (2) グループ別集計 4. 推定と検定 (1) 母集団の推定 5. 推定と検定 (2) 統計的検定の意味 6. クロス表の分析 (1) 2つの群の比較 7. クロス表の分析 (2) 比率の差の検定 8. クロス表の分析 (3) エラボレーション 9. 関連の強さ (1) 相関関係 10. 関連の強さ (2) 関連性係数 11. 因果関係を考える (1) 因果分析 12. 因果関係を考える (2) パス解析 13. 質的データの分析 (1) 質的データの整理方法 14. 質的データの分析 (2) ドキュメント分析 15. 社会調査法のまとめ 分析結果の考察について					